

アトラクション／プロフィール

「PAGODE (パゴージ)」

2009年にサックス、ピアノ、パーカッションのクラシック奏者3名により結成。「PAGODE (パゴージ)」とは、南米ブラジル音楽であるサンバなどを、サンバカーニバルなどの大編成ではなく、日常的に家庭の庭などで演奏される小編成で演奏する形態を指してそう呼ばれ、「普段着のサンバ」として、もっと身近な感覚で音楽を楽しんで頂きたいという意が込められている。クラシックをはじめ、ポップ・ジャズ・映画音楽等さまざまなジャンルの音楽をレパートリーとし、東京を中心に演奏活動を行っている。

正林一平 (Sop. Alto, Tenor Saxophone)

1980年和歌山県生まれ。2005年、尚美学園大学芸術情報学部音楽表現学科卒業。2005年に日本サクソfon協会主催の新人演奏会、ヤマハ新人演奏会に出演。2007年には中国（大連）にてサクソfon四重奏団にて演奏ツアーワーを行い、好評を博す。現在は東京を中心にソロ、室内楽、吹奏楽の分野で活動を行っている。

山崎元 (Piano)

1982年宮城県生まれ。2008年、尚美学園大学芸術情報学部音楽表現学科卒業。管楽器演奏で培った呼吸感覚と経験を活かし、埼玉県を中心にトランペット・フルート・サクソフォーン等の伴奏者として活動中。クラシックをはじめあらゆるジャンルの音楽に精力的に取り組んでいる。

川島直人 (Purcussion)

1986年埼玉県生まれ。2009年、尚美学園大学芸術情報学部音楽表現学科卒業。2008年、宮本亜門演出、ミュージカル「トゥーランドット」にレギュラーメンバーの太鼓隊として参加し、東京、大阪、名古屋の全59公演に参加出演。現在は埼玉県を中心にソロ、アンサンブル、オーケストラ、吹奏楽の分野で活動を行っている。